



TeamFile 導入事例
(印刷・出版企業事例)

株式会社 有斐閣

安全で待ち時間ゼロの入稿・出稿,時と場所を選ばない共同執筆が可能に

■ 意外と知られていない電子化

現在の出版では本来の意味での“活字”はまったく姿を消しました。我が社でも 20 年以上前から段々と活版印刷から移行し,今では全ての書籍,雑誌が電子組版となっています。著者や印刷所とのやりとりも電子化され,原稿の入手,印刷所への入稿も添付ファイルや FD に変わってきました。その後,やりとりするデータが大容量化し,MO や CD-R,DVD-R と変わってきています。

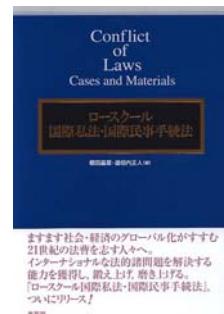
でも,人の行き来が必要でした。我が社の看板商品「六法全書」は,日本の現行法令の1割強の1千法令を収めた約 6,000 頁の書籍です。印刷に 50 日を要し,毎日多くの法令を校了にしなければなりません。しかし,出力した校正紙を人が運んで来るのを待つ時間がありました。書籍の表紙や広告のデザインの場合にも,人が届ける行為が介在します。このような行為は作業の効率が悪く,関係者の負担も非常に高くなっていました。

■ 情報格差

どの出版物もそうですが,いろいろな協力者の方なしでは本は出版できません。しかし,我が社も含めて,協力者の方すべてがコンピュータの知識をもっていないのが現状です。すべての書籍がデータ化された今日では,データを如何に早く,簡単に交換できるかは非常に重要でした。協力者全員が足並みを揃え,情報格差をなくすことは今後の我が社にとっても非常に重要なファクターであると考えています。TeamFile の直感的な仕組みは,この点に関して非常に優れていると思いました。

有斐閣のファイル転送

・利用単位	45 グループ
・利用者数	115 人 (社員 35 人・社外 80 人)
・利用環境	Win/MacOS9/X 混在
・交換回数(平均)	130 回/月
・交換データ量(最大)	3GB(月)



TeamFile 上で共同作成して刊行した
ロースクール国際私法・国際民事訴訟法
(下図参照)

■ たかがファイル転送,されどファイル転送

広範囲に活動を行っていただいている方々を無理な教育無く利用可能なものにしてくれたことに関しては *TeamFile* の仕組みは受け入れやすいものでした。メールもそうですが,我社の仕事は外部の協力者からのデータ入稿から始まります。

たかがファイル転送ではありません。我が社にとっては非常に重要な位置づけになっています。

TeamFile のもう一つの便利さは,メール監視の機能があることです。「登録」「取得」などのアクセスがあったときに,メールが配信される仕組みは,「FTP サーバに上げました」などの連絡を別にする必要もなく便利です。これまではメールにファイルを添付して送付することが多かったのですが,添付する前に送信ボタンを押してしまったという経験は誰にもあります。そしてあわてて再送したり,場合によっては「添付ファイルがありません」と返信メールが来てしまったりします。その点 *TeamFile* はフォルダに入れる感覚でファイルを登録すると関係者(グループ登録者)に自動的にメールが送信されるので,そういったミスは生じようがありません。メールに添付して送る作業と比較して,わずかなことですが時間的にも節約されます。そして,この時間は積み積みもって大きなものとなっています。

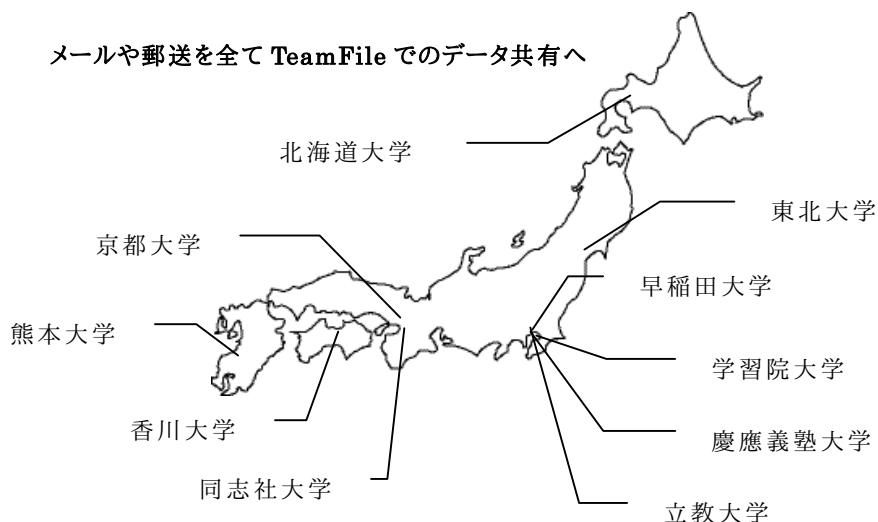
■ 使うたびにわかる経済的効果

TeamFile を利用し始めて2年経ちますが,大きな問題もなく快適に利用しています。

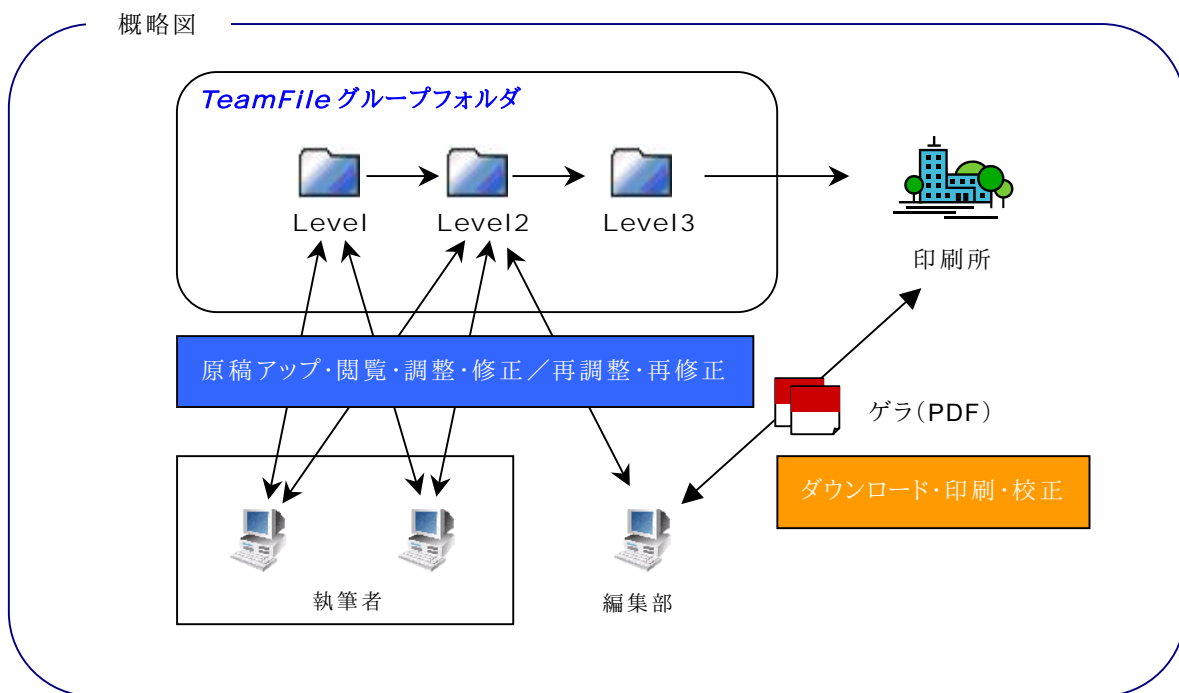
最近では我が社のインフラとして定着し,書籍・雑誌の入稿・出稿作業は当然のこと,新刊案内の制作プロセス,書籍の装幀・デザイン関係のデータ交換,我が社の電子製品——法律学・経済学・心理学の電子辞典,ジュリスト・判例百選 DVD,重要判例検索サービスシステム Vpass(Web サイト),法律用語変換辞書 etc の制作における関係会社とのデータ交換にも大いに利用しています。さまざまな業務がデータ交換を *TeamFile* に置き換えたことによる,我が社の経済的効果は算出すると郵送料や交通費,CD-R の作成費等の直接費で約 100 万円/年になりました。さらに,データ受渡しのための時間(CD-Rを焼く,人が移動する等)やデータ到着の待機のためだけに時間を費やしていた時間がすべてほかのクリエイティブな作業に向ける時間へとシフトしていることを考えると,直接的な費用削減以上にはるかに大きな効果があったと思います。さらに人がものを持ち歩かなくても済むというデータ交換の安全性も,経済的効果以上に大きなものがあると言えます。

■ ロースクール国際私法・国際民事訴訟法 B5変型 402頁, 5040円(05年4月刊)

11人の異なる法科大学院の教官が共同執筆。35ユニットからなる本文について、初校(レベル1)から校了(レベル4)まで、執筆内容の確認・調整を TeamFile 上でファイルを共有管理して行い刊行した。時と場所を選ばず、マイコンピュータにまさにファイルがあるかのように、互いに簡単に他の執筆者の原稿を確認できることから、海外留学中でもストレスなく執筆していただき、スムーズな刊行につながった。



ロースクール国際私法・国際民事訴訟に関わった先生方の大学





1887年創立の社会科学書・人文科学書の専門出版社。六法全書をはじめとする法律書のほか、大学の講義用テキストを主体に法律・経済・政治・社会学・心理学などの分野で年間200点ほどの書籍を発行している。役員・社員計103人。年商47億円(2005年)、本社・千代田区神田神保町。他に雑誌編集部・文京区本郷(東大前)、京都支店・京都市左京区田中門前町(京大前)がある。

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

お問合せ:

コンピュータ・ハイテック株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 3-18-7

Phone: 03-3839-9807 / fax: 03-3839-5432

E-mail: teamfile@cht.co.jp / <http://www.teamfile.com>

記載されている製品名は各社の登録商標です。